

第3回 明石市財政及び公共施設のあり方に関する検討会（議事要旨）

日時	2024年(令和6年)7月28日(日) 13:00~15:30
場所	明石市役所本庁舎8階 806会議室
出席者	石原会長、石山委員、岡平委員、河田委員、楠目委員、瀬能委員、森田委員、小田委員、増田委員
議事	【報告事項】 (1) 第1回・第2回検討会の振返り 【審議事項】 (2) 財政白書の基礎イメージ案
配布資料	・次第 ・第1回・第2回検討会の主な意見 資料1 ・(仮称)みんなでつくる財政白書 基礎イメージ案 資料2
事務局	総務局財務室財務担当、政策局SDGs共創室市民とつながる課

1 開会

2 会長あいさつ

3 検討会委員による審議

(1)第1回・第2回検討会の振返り

※事務局から資料説明 ([資料1](#))

(C委員)

資料のデザインや構成について

- ・ 明石市に関する資料であることを表すため、明石海峡大橋など市に関連する写真を使用した方がよい。
- ・ 公式な資料であることを示すために、表紙に市章を入れた方がよい。
- ・ 各ページで最も伝えたいことを目立たせるため、それ以外の部分を強調しすぎない方がよい。
- ・ 線で構成されたページは文字が読みづらくなるので、面的要素を追加した方がよい。
- ・ 読みやすくするためには、行間、余白をもう少し広く取る方がよい。
- ・ 同系色だけで構成されたページに違う色味を追加した方がよい。

(2)財政白書の基礎イメージ案

※事務局から資料説明 ([資料2](#))

(A委員)

- ・ 全体構成についてはこれでよい。

- ・ 1つのページにつきグラフは1つにした方が分かりやすい。また、同じ内容を違うグラフで説明している箇所がある。例えば、P8のグラフを削って、P9のグラフだけを残すなどかどうか。
- ・ 中学生以上を対象としているので、もう少し文章を短く、分かりやすくしてほしい。例えば、P43の記載であれば、災害で一時的にお金が必要になる理由を長々と書くのではなく、キャラクターに一言話させる程度でよいのでは。

(B委員)

- ・ 全体構成についてはこれでよい。
- ・ Q&A形式にしているが、Qの位置とAの位置がページによってバラバラなので、統一した方がよい。もう少しスペースに余裕を持って配置することで実現できるのでは。
- ・ 公共施設の部分は文字数が多くなりすぎている。

(C委員)

- ・ 全体構成についてはこれでよい。
- ・ ページ数は現状でも46ページあり、かつ、1ページあたりの情報量が多くなってしまっているのは悩ましい。
- ・ 何も説明を受けずに資料を見ても、頭に入ってきづらい状態だと思う。改善方法としては、ページを分けることだが、そうするとページ数が倍増することになるので、編集して内容を削る必要がある。
- ・ P45、P46は言葉として伝えなければならないところで、非常に重要なページであるにもかかわらず、読み進めてきた人が最後にこれを見て、果たして読もうと思ってもらえるだろうか。教科書を見ているような感覚になるのでは。
- ・ 公共施設の部分であれば、具体的な写真を添えるなど、イメージをしながら読み進められる工夫があった方がよい。
- ・ マンガはよい。クセのない分かりやすい絵になっている。

(D委員)

- ・ 中学生ぐらいを対象にしているので、文章をもっとやわらかく伝わりやすい表現にしたい。キャラクターに応じた話し方にしていることはよいが、使っている言葉が難しい。
- ・ 資料だけでは分かりづらいので、身近なものを題材に取り入れた方がよいのでは。
- ・ 最後に今後の課題まで載せているのに、取組内容の説明が長すぎて、読む気がなくなってしまう。

(E委員)

- ・ 全体構成についてはこれでよい。
- ・ 財政指標は、指標そのものが持つ難しさもある。簡単に書くことは可能だが、簡単にすることで大事な要素が削ぎ落ちてしまうおそれもある。
- ・ どこまで踏み込んだ文章を書くべきか。グラフを見れば増減は分かるので、文字がなくても伝わる。その中で、見れば分かる部分は文字にしないのか、グラフから何が読み取れるかまで書くのかについては検討が必要だと思う。

(F委員)

- ・ 以前に比べて分かりやすくなっているが、まだ文字数が多い。対象の年齢層を考えると、もう少し削減する必要がある。
- ・ マンガはシンプルでわかりやすく、関西弁も入っていて親しみやすい。

(G委員)

- ・ 民生費が増加していることや土木費をそれほど削ったわけではないという説明がしっかりとされている。市民も興味・関心を持っている部分なので、しっかりとページ数を使った現状の案でよい。
- ・ ふるさと納税のページを作してほしい。また、市民が他市にふるさと納税をすると、明石市の税収が減ってしまうということを市民に知ってもらうことも大事だと思う。
- ・ 市役所新庁舎の建替えの費用が、今後どのように支払われていくのかを自分で調べてみたが分からなかった。市の実質的な負担がいくらで、毎年の支払方法を家のローンに例えて説明すると、市民に分かりやすいのでは。
- ・ たこファミリーのプロフィールを見てみると、ジェンダーバイアスが強いと感じる。明石市はダイバーシティを推進しているので、もう少し配慮した方がよい。

(H委員)

- ・ 全体構成についてはこれでよい。
- ・ 文字数が多く、中学生が読むには難しい言葉が使われている。
- ・ デザイン的に色が多すぎて、どこが大事なのかが分かりづらい。

(会長)

- ・ 中学生以上を対象に進めているが、現実的にはやや厳しいという印象がある。高校生であれば「公共」の授業があり、教科書の内容も充実している。対象を高校生以上に上げてもよいのでは。
- ・ 読み進めていった人が、最後のP44以降を読む力はおそらく残っていない。むしろ構成からすれば、この部分を冒頭に持ってきて、これをするためにお金のことをみんなで考えましょうという構成にする方がよいのではないか。
- ・ 福祉の費用や土木費などを個別に市民に伝えることはしつつ、その財源がどういう状況で、今までどのようにやりくりしてきたのかを伝えることも意識してほしい。
- ・ 市役所が行う仕事やミッションをもう少し説明に加えていった方がよいのでは。
- ・ どのように伝えるのかについての議論はしてきたが、どのコンテンツを説明するのかの議論があまりされていない。市民が知りたい情報と市が市民に伝えたい情報を整理し、コンテンツをどうするかという議論もしていきたい。
- ・ 財政白書を毎年どのタイミングで作成し、どのように発信していくのかについての議論も必要ではないか。
- ・ 財政の健全性とは、必要なお金を必要なところに使って、余計なお金は使わないということ。願わくば、市民の皆さんの方から、ムダなところや不足しているところなどの意見が出てくるような、客観的な情報提供ができる資料にしたい。

4 市民参加型ワークショップ

以下のテーマに基づき、3回のグループワークを実施

(テーマ)

- ① あなたが今、関心のある市政のテーマや課題は何でしょうか？
それはどんな理由からでしょうか？
- ② 市の財政について、多くの市民が1番知りたいこととは何でしょうか？
- ③ 「みんなが読みたい、手に取りたくなる」財政白書ってどんなものだろう？

(意見)

ワークショップの最後に、「こんな財政白書にしたい！すべき！」という想いを、A4用紙1枚に書いていただきました。参加された皆さんからの貴重なご意見を正確に伝えるため、議事録に代えて、検討会当日の実際の写真を掲載しています。

5 閉会